

石狩川水系（下流）既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場  
規約

（名称）

第1条 本会は、石狩川水系（下流）既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場（以下「協議の場」という。）と称する。

（目的）

第2条 協議の場は、既存ダムの洪水調節機能強化に向けた基本方針（令和元年12月12日 既存ダムの洪水調節に向けた検討会議）に基づき、石狩川水系（下流）において、河川管理者、ダム管理者及び関係利水者（ダムに権利を有する者を言う。以下同じ。）との間において、既存ダムの洪水調節機能の強化を図るために必要な協議を行うことを目的とする。

（協議の場の構成）

第3条 協議の場は、別表に掲げる石狩川水系（下流）における河川管理者、ダム管理者及び関係利水者で構成する。

- 2 協議の場には議長を置き、札幌開発建設部次長（河川担当）をもってこれに充てる。
- 3 議長は、協議の場の事務を掌理する。
- 4 協議の場には、必要に応じ分科会又は専門部会を設けることが出来る。

（協議事項）

第4条 協議の場は、第2条の目的を達成するため、次の事項を協議する。

- （1）治水協定の締結に係る事項
- （2）工程表の作成に係る事項
- （3）その他

（会議の公開）

第5条 協議の場は、原則として公開とする。

（協議の場資料等の公表）

第6条 協議の場に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、構成員の了解を得て公表しないものとする。

- 2 協議の場の議事については、事務局が議事録を作成する。

(事務局)

第7条 協議の場の事務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、札幌開発建設部に置く。

3 事務局の運営に関し、必要な事項は議長が別に定める。

(規約の改正)

第8条 議長は、本規約を改正する必要があると認めるときは、構成員の同意を得てこれを行うことができる。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議の場の運営に関し必要な事項は、議長が協議の場に諮って定める。

(附則)

第10条 本規約は、令和2年1月27日から施行する。

## 別 表

石狩川水系（下流）既存ダムの洪水調節機能強化に係る協議の場 構成員名簿

札幌開発建設部	桂沢水道企業団
空知総合振興局	夕張土地改良区
北海道企業局	北海土地改良区
北海道農政部	美唄第一水利組合
札幌市	芦別市土地改良区
夕張市	新えべつ土地改良区
美唄市	道央農業協同組合
芦別市	江部乙土地改良区
江別市	空知土地改良区
赤平市	多度志土地改良区
滝川市	空知川上流土地改良区
深川市	富良野土地改良区
栗山町	恵庭土地改良区
新十津川町	篠津中央土地改良区
妹背牛町	当別土地改良区
秩父別町	新篠津土地改良区
雨竜町	由仁土地改良区
北竜町	ながぬま土地改良区
沼田町	夕張川水系土地改良区連合
幌加内町	栗山土地改良区
安平町	月形土地改良区
北海道電力株式会社	浦臼土地改良区
電源開発株式会社	新十津川土地改良区
王子製紙株式会社	秩父別土地改良区
石狩東部広域水道企業団	雨竜土地改良区
石狩西部広域水道企業団	北竜土地改良区
北空知広域水道企業団	沼田町土地改良区
中空知広域水道企業団	幌加内土地改良区
西空知広域水道企業団	北学田水利組合